



# 妙高高原中学校



所在地 妙高市大字関川 762 番地

電 話 86-2074 FAX 86-2482

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/kogen-c/>

## 1 学校の概要

- (1) 創 立 昭和 23 年 4 月 1 日
- (2) 教職員 校長 小林 辰男 教頭 渡邊 孝弘  
教諭 7 名 養護教諭 1 名 主事 1 名  
講師 2 名 非常勤講師 2 名 ALT 1 名  
用務員 1 名 特支教育支援員 1 名  
教育補助員 1 名

### (3) 学級編成

学 年	学級	男	女	合計
第 1 学年	1	12	12	24
第 2 学年	1	14	12	26
第 3 学年	1	14	18	32
特別支援	1	2	1	3
合 計	4	42	43	85

## 2 学校経営の基本構想

- (1) 豊かな心（徳）  
社会性、道徳的価値観の育成
- (2) 確かな学力（知）  
学力（知識・技能、思考力、判断力、表現力、読解力等、学びに向かう力）の育成
- (3) たくましい体（体）  
生涯を豊かに生き抜くための心身の育成
- (4) 郷土愛  
地域貢献活動と持続可能な地域づくりの推進

## 3 教育目標

『知性・敬愛・活力』

## 4 年度の重点目標及び努力事項

- (1) 重点目標（行動目標）
  - ・他者を認め、進んで話し、協力しよう！
  - ・目標を持って主体的に学習しよう！
  - ・粘り強く体力づくりに取り組もう！
- (2) 努力事項
  - ・学校行事や生徒会活動等において、「生徒主体」の活動を位置付けて、他者と協力しながら主体的に問題解決を図る意欲や態度を育成する。
  - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、プロセスを重視した学習を充実させる。
  - ・自分の体力や健康状態を知り、生徒が主体的に維持、増進を図る。

## 5 研修計画

- (1) 研究主題  
「主体的・対話的で深い学び」につながる ICT 機器を活用した授業づくりと読解力の育成

### (2) 主題設定の理由

R 3 年度の研修を更に推し進め、より効果的に「読解力の育成」を図るための ICT 機器の活用方法について実践を重ね、汎用性を高める。

### 研究内容

- ①授業研修 各自が研究主題に沿った授業実践を行い、一人 1 回以上公開する。その中で読解力を育むために ICT 機器を活用した手立てを用い、有効性を生徒の姿から分析する。
- ②レポート作成 「ICT+授業レポート」を一人 1 枚以上作成し、ICT 機器を使用するねらい、目的を改めて考え、手立てを職員間で共有する。

## 6 SDGs 推進計画

- (1)「総合的な学習の時間」年間指導計画の再編  
R 3 年度の実践を基に妙光祭(10 月)を計画の中核に据え、『いつまでも大好き妙高高原』をスローガンにプログラム化する。また、修学旅行(10 月)の内容を大幅に見直し、関西 SDGs プラットフォームに賛同する自治体や企業、大学での研修を設定する。
- (2) SDGs キャンペーンの実施  
生徒会が企画、運営する全校生徒参加の各種キャンペーンを約一か月間行う。また、各専門委員会においても 17 のゴールを意識した日常活動を展開する。
- (3) 視覚的カリキュラム表の作成  
各教科領域の単元、題材と 17 のゴールとの関連を示したカリキュラム表を作成し、運用する。
- (4) CS と連携した生徒目線の地域の魅力発信  
妙高高原の魅力をまとめた学習の成果を CS 運営の HP「Be Myoko!」に掲載。情報リテラシーを学びながら広く発信するスキルを身に付ける。

## 7 主な行事予定

- 4 月：入学式 家庭確認
- 5 月：体育祭 生徒総会 避難訓練 教育相談①
- 6 月：F1 テスト 地区大会、進路説明会
- 7 月：職場体験学習 個別面談 県総体
- 8 月：北信越総体 全国総体 県マーチング
- 9 月：F2 テスト 教育相談 新人陸上 西関東マーチング
- 10 月：新人大会 修学旅行 学習成果発表会+妙光祭
- 11 月：F3 テスト 県駅伝 絆づくり集会  
いじめ見逃しゼロスクール集会、SDGs キャンペーン
- 12 月：県アンコン 生徒会役員選挙 個別面談
- 1 月：テスト F4（3 年）、県スキー大会 進路面談
- 2 月：全中スキー大会 F4 テスト（1.2 年）
- 3 月：同窓会入会式 卒業式 個別面談 PTA 総会